

## 第54期 貸借対照表

〔平成25年3月31日現在〕

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>70,582</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>22,436</b>
現金・預金	333	短期借入金	5,000
金銭の信託	51,061	未払金	6,481
有価証券	4,500	未払収益分配金	3
未収委託者報酬	8,651	未払償還金	42
未収収益	4,224	未払手数料	3,764
繰延税金資産	1,504	その他未払金	2,671
その他	313	未払費用	6,979
貸倒引当金	△6	未払法人税等	763
<b>固 定 資 産</b>	<b>31,373</b>	賞与引当金	3,109
有形固定資産	1,470	その他	102
建物	485	<b>固 定 負 債</b>	<b>2,948</b>
器具備品	985	退職給付引当金	813
無形固定資産	8,458	時効後支払損引当金	495
ソフトウェア	8,457	繰延税金負債	1,640
電話加入権	1	<b>負 債 合 計</b>	<b>25,385</b>
その他	0	<b>純 資 産 の 部</b>	
投資その他の資産	21,443	科 目	金 額
投資有価証券	9,061	<b>株 主 資 本</b>	<b>71,942</b>
関係会社株式	12,092	資 本 金	17,180
長期貸付金	29	資 本 剰 余 金	11,729
長期差入保証金	55	資 本 準 備 金	11,729
長期前払費用	19	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>43,032</b>
その他	184	利 益 準 備 金	685
貸倒引当金	△0	その他利益剰余金	42,347
		別 途 積 立 金	24,606
		繰越利益剰余金	17,740
		<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>4,628</b>
		その他有価証券評価差額金	4,659
		繰延ヘッジ損益	△30
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>76,570</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>101,956</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>101,956</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第54期 損益計算書

自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日

(単位：百万円)

科 目	内 訳	金 額
営 業 収 益		91,747
委託者報酬	74,067	
運用受託報酬	17,516	
その他営業収益	163	
営 業 費 用		58,810
支払手数料	37,925	
その他営業費用	20,885	
一 般 管 理 費		23,589
<b>営 業 利 益</b>		<b>9,347</b>
営 業 外 収 益		4,396
受取配当金	3,002	
その他営業外収益	1,394	
営 業 外 費 用		145
<b>経 常 利 益</b>		<b>13,598</b>
特 別 利 益		230
投資有価証券等売却益	59	
株式報酬受入益	160	
固定資産売却益	10	
特 別 損 失		3,105
投資有価証券売却損	60	
投資有価証券等評価損	9	
関係会社株式評価損	2,916	
固定資産除却損	118	
<b>税 引 前 当 期 純 利 益</b>		<b>10,723</b>
法人税、住民税及び事業税		3,765
法人税等調整額		446
<b>当 期 純 利 益</b>		<b>6,510</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第 54 期 株主資本等変動計算書

( 自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日 )

(単位：百万円)

	株主資本							株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利 益 剰 余 金 合 計	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 益 準 備 金	その他利益剰余金			
					別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金		
当期首残高	17,180	11,729	11,729	685	24,606	14,320	39,611	68,521
当期変動額								
剰余金の配当						△3,090	△3,090	△3,090
当期純利益						6,510	6,510	6,510
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	3,420	3,420	3,420
当期末残高	17,180	11,729	11,729	685	24,606	17,740	43,032	71,942

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	2,693	12	2,705	71,227
当期変動額				
剰余金の配当				△3,090
当期純利益				6,510
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,965	△43	1,922	1,922
当期変動額合計	1,965	△43	1,922	5,342
当期末残高	4,659	△30	4,628	76,570

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 個 別 注 記 表

当社の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書は、「会社計算規則」（平成18年2月7日法務省令第13号）ならびに、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。

### [ 重要な会計方針に係る事項に関する注記 ]

#### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの

移動平均法による原価法

#### 2. デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法

#### 3. 金銭の信託の評価基準及び評価方法

時価法

#### 4. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については、定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産 定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。  
及び投資その他の資産

#### 5. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。

退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。

(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

6. リース取引の処理方法

リース取引開始日が平成 20 年 4 月 1 日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

7. ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計は、原則として、時価評価されているヘッジ手段に係る損益を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで純資産の部において繰り延べる方法によっております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段	為替予約
ヘッジ対象	投資有価証券

(3) ヘッジ方針

投資有価証券に係る為替変動リスクをヘッジしております。

(4) ヘッジ有効性評価の方法

為替変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。

8. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

9. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

**[会計方針の変更等]**

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当事業年度より平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

[ 貸借対照表に関する注記 ]

1. 有形固定資産の減価償却累計額	3,043 百万円
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	280 百万円
短期金銭債務	5,952 百万円

[ 損益計算書に関する注記 ]

関係会社との取引高

営業収益	1,401 百万円
営業費用及び一般管理費	8,833 百万円
営業収益以外の収益	3,381 百万円
営業費用及び一般管理費以外の費用	44 百万円
資産購入高	2,044 百万円

[ 株主資本等変動計算書に関する注記 ]

1. 当事業年度の末日における発行済株式の数

株式の種類	当事業年度期首	当期増加株式数	当期減少株式数	当事業年度末
普通株式	5,150,693 株	-	-	5,150,693 株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成 24 年 5 月 16 日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 3,090 百万円

1 株当たり配当額 600 円

基準日 平成 24 年 3 月 31 日

効力発生日 平成 24 年 6 月 1 日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

平成 25 年 5 月 14 日開催予定の取締役会において、次の議案を付議する予定であります。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 3,966 百万円

1 株当たり配当額 770 円

基準日 平成 25 年 3 月 31 日

効力発生日 平成 25 年 6 月 21 日

[ 税効果会計に関する注記 ]

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	百万円
賞与引当金	1,181
関係会社株式評価減	1,050
所有株式税務簿価通算差異	776
投資有価証券評価減	501
ゴルフ会員権評価減	408
退職給付引当金	292
減価償却超過額	208
未払事業税	184
時効後支払損引当金	178
子会社株式売却損	172
未払社会保険料	90
繰延ヘッジ損失	18
その他	124
繰延税金資産小計	<u>5,189</u>
評価性引当金	△2,704
繰延税金資産計	<u>2,485</u>
繰延税金負債	
有価証券評価差額金	<u>2,620</u>
繰延税金負債計	<u>2,620</u>
繰延税金負債(純額)	<u>135</u>

## [ 金融商品に関する注記 ]

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自らが運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を投資有価証券として、あるいは特定金銭信託を通じ保有しております。直接または特定金銭信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

投資有価証券として、あるいは特定金銭信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物、スワップ取引などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。



## 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成 25 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位:百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金・預金	333	333	-
(2) 金銭の信託	51,061	51,061	-
(3) 未収委託者報酬	8,651	8,651	-
(4) 有価証券及び投資有価証券			
その他有価証券	12,678	12,678	-
(5) 関係会社株式	3,064	104,822	101,758
資産計	75,789	177,548	101,758
(6) 短期借入金	5,000	5,000	-
(7) 未払金	6,481	6,481	-
未払収益分配金	3	3	-
未払償還金	42	42	-
未払手数料	3,764	3,764	-
その他未払金	2,671	2,671	-
(8) 未払費用	6,979	6,979	-
(9) 未払法人税等	763	763	-
負債計	19,224	19,224	-
(10) デリバティブ取引 (*)			
ヘッジ会計が適用されていないもの	-	-	-
ヘッジ会計が適用されているもの	3	3	-
デリバティブ取引計	3	3	-

(\*) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

### 注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

#### (1) 現金・預金、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価格、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、帳簿価額によっております。その他有価証券の当事業年度中の売却額は730百万円であり、売却益の合計額は6百万円、売却損の合計額は60百万円であります。また、その他有価証券において、種類ごとの取得原価、貸借対照表計上額及びこの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	種類	取得原価	貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	282	7,534	7,251
	投資信託	-	-	-
	小計	282	7,534	7,251
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	投資信託	645	644	△0
	譲渡性預金	4,500	4,500	-
	小計	5,145	5,144	△0
合計		5,427	12,678	7,250

(5) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

(6) 短期借入金、(7) 未払金、(8) 未払費用、(9) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(10) デリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないもの

該当するものはありません。

ヘッジ会計が適用されているもの

ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額は、次のとおりです。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち1年超	時価	当該時価の算定方法
原則的処理方法	為替予約取引	投資信託	647	-	3	先物為替相場による
合計			647	-	3	-

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券883百万円、関係会社株式9,028百万円）は、市場価格がなく、かつキャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。なお、当事業年度において、非上場株式について2,916百万円減損処理を行っております。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	333	-	-	-
金銭の信託	51,061	-	-	-
未収委託者報酬	8,651	-	-	-
有価証券及び投資有価証券	4,500	-	-	-
合計	64,547	-	-	-

[ 関連当事者との取引に関する注記 ]

1. 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	594,492 (百万円)	持株会社	(被所有) 直接 100%	資産の賃貸借及び購入等  役員の兼任	資金の借入(*1)	59,500	短期借入金	2,000
							資金の返済	66,000		
							借入金利息の支払	44	未払費用	0

2. 子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
関連会社	株式会社野村総合研究所	東京都千代田区	18,600 (百万円)	情報サービス業	(所有) 直接 21.6%	サービス・製品の購入	自社利用ソフトウェア開発の委託等(*2)	4,433	未払費用	706

### 3. 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	—	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (*3)	30,983	未払手数料	3,105
親会社の子会社	野村ファン ド・リサーチ・アンド・ テクノロジー株式会社	東京都中央区	400 (百万円)	投資顧問業	—	当社投資信託の運用委託 役員の兼任	投資信託の運用に係る投資顧問料の支払 (*4)	1,941	未払費用	827
親会社の子会社	野村信託銀行株式会社	東京都千代田区	30,000 (百万円)	信託銀行業	—	資産の賃貸借及び購入等	資金の借入 (*1)	3,000	短期借入金	3,000
						役員の兼任	借入金利息の支払	12	未払費用	—

### 4. 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

#### 2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(\*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(\*2) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。

(\*3) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(\*4) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。

### [ 1株当たり情報に関する注記 ]

- 1株当たり純資産額 14,866円12銭
- 1株当たり当期純利益 1,264円08銭